

新潟脳神経研究会第 312 回例会

日 時： 平成 29 年 1 1 月 2 1 日 (火) 午後 6 時～

場 所： 脳研究所 1 階 検討会室

(司会：他田 正義)

1) 慢性期脳梗塞に対する保護的ミクログリア・単球による機能回復促進療法

(20分)

金澤 雅人 (新潟大・脳研・神経内科学分野)

慢性期の脳梗塞に対して、機能を回復させる治療法はリハビリ以外にない。様々な細胞による治療が試みられているが、ミクログリアを低酸素低糖刺激で保護的な分画に修飾し、慢性期に投与することで、機能回復を促進することを報告した。脳梗塞に対する保護的ミクログリア・単球による機能回復促進療法について展望も含めて概説する。

2) 統合失調症モデル動物における聴覚刺激に対する脳波反応の異常

(20分)

稲葉 洋芳 (新潟大・脳研・分子神経生物学分野)

近年、統合失調症の症状の根本は、聴覚などの基礎感覚系における情報処理障害であることが示唆されている。今回は、新生仔期にサイトカインシグナルを亢進させることで作製した統合失調症モデル動物で観察された、聴覚刺激に対する脳波反応の異常について報告する。

3) 深層学習による画像認識の臨床応用

(20分)

松澤 等 (新潟大・脳研・統合脳機能研究センター)

臨床医学の分野において、ヒトがあらかじめ抽出した画像の特徴量について data-mining を行う tool としての人工知能の応用は以前から報告されているが、特徴量の抽出すら行わずに深層学習フレームワークを用いて MRI や病理標本等の画像を「直接認識して」疾患分類や病変検知を行う深層学習の医療用画像への直接的な応用例は少ない。深層学習を用いた上記の試みについて報告する。

どうぞ奮ってご参加ください。

(担当：神経内科学分野)
新潟脳神経研究会幹事代表：那波宏之